

平成22年9月22日
運輸安全委員会事務局

アジア船舶事故調査官会議の開催について

運輸安全委員会は、下記のとおり「アジア船舶事故調査官会議」を開催します。
この会議は、海洋政策研究財団の平成22年度海外交流基金により実施される事業です。

記

1. 目的

海上人命安全条約（SOLAS 条約）の改正により、各国が協力して船舶事故調査を実施する際の共通原則並びに国際協力の手続きを定めた事故調査コードが本年1月発効し、世界の船舶事故調査は大きな変革の時期を迎えています。

しかし、アジア地域では依然として事故調査体制が必ずしも十分ではない国があり、当該地域における底上げが課題となっています。このような状況の中で、事故調査コードへの共通理解を深め、アジア地域における船舶事故の再発防止及び海上交通の安全向上に寄与することを目的として、我が国において、各国の船舶事故調査官による会議を開催し、事故調査手法及び国際協力体制を発展させるための意見交換を行います。

2. 日時及び場所

平成22年10月6日（水）09：30～18：00

7日（木）09：30～12：00

東京プリンスホテル11階「高砂」（東京都港区芝公園3-3-1）

3. 出席者

16機関 28名

日本：運輸安全委員会 首席船舶事故調査官等5名

アジア・太平洋地域等：15機関 23名

オーストラリア、カンボジア、中国、香港、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、韓国、ロシア、シンガポール、タイ、米国、ベトナム、国際船舶事故調査官会議（MAIIF）

4. 主な議題

事故調査コード対応状況、ケーススタディー等

※ 本会議は非公開とさせていただきますが、頭撮りが可能ですので、希望される方は事前に下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先

運輸安全委員会 事務局 参事官

国際渉外官 柴田、国際係長 中村

電話 03-5253-8824